



2018年4月4日

各 位

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
代 表 者 代表取締役社長 山口 貢
(コード番号 5406)
問 合 せ 先 コーポレート・コミュニケーション部長
本田 和幸
(TEL 03-5739-6010)

加古川製鉄所における自動車用ハイテン鋼板の生産設備投資について

当社・加古川製鉄所薄板工場において、今後の自動車用超ハイテン鋼板の需要拡大に対応するため、新たに薄鋼板の連続焼鈍設備を中心とした設備投資を実施することを決定しました。2021年2月の稼働開始を目指して、設備建設を進めて参ります。

<新設備の概要>

- ・ 投資額 : 約 500 億円
- ・ 対象設備 : 【新設】連続焼鈍設備・リコイラー・その他付帯設備
【増強】PTCM 設備*1・構内物流設備
- ・ 生産能力 : 年間 24 万トン
- ・ 稼働開始 : 2021 年 2 月
- ・ 主要製品 : 自動車用超ハイテン鋼板 (冷延および溶融亜鉛めっき)

近年、自動車メーカーは、厳しさを増す燃費規制と衝突安全規制への対応のため、「車体の軽量化と高強度化」を推進しており、自動車用ハイテン鋼板に対する需要拡大、並びに機能向上ニーズが今後更に高まっていくと想定されています。

本設備投資は、自動車用ハイテン鋼板の需要拡大を見据えた生産能力の拡大と生産性向上、将来的な更なる高強度化、高加工性ニーズへの対応を目的として、意思決定したものです。

新設備は、連続焼鈍設備と溶融亜鉛めっき・合金化設備を併せ持つ、冷延鋼板および溶融亜鉛めっき鋼板兼用製造ライン*2とその付帯設備です。

新設する連続焼鈍設備は、最新鋭の熱処理機能を有しており、冷延鋼板および溶融亜鉛めっき鋼板において、お客様のニーズに即した高加工性超ハイテン鋼板*3の生産が可能となります。

また、設備新設に伴い、既存の生産設備や構内物流設備の能力増強も併せて実施致します。

当社は、自動車用ハイテン鋼板の生産拠点として日本 (加古川製鉄所)、米国 (プロテック社*4)、中国 (鞍鋼神鋼冷延高張力自動車鋼板有限公司*5) と、日米中 3 極での「ハイテン鋼板のグローバル生産体制」を整えております。

本設備投資により、加古川製鉄所は高加工性超ハイテン鋼板の生産拡大が可能となり、現在プロテック社で建設中の新溶融亜鉛めっきラインと合わせ、日米での高加工性超ハイテン鋼板の同時生産を実現します。

当社は、今後も品質に優れたハイテン鋼板の製造、供給を通じて、燃費向上やCO₂削減に繋がる自動車の軽量化、及び安全性に優れた自動車の高強度化に貢献して参ります。

- *1 酸洗および冷間圧延の連続ライン
- *2 冷延鋼板と溶融亜鉛めっき鋼板、製造する品種によって、通過工程を切り替える。冷延鋼板製造時は、連続焼鈍設備にて熱処理を実施する。また、溶融亜鉛めっき鋼板製造時は、連続焼鈍の後、めっき設備にてめっき処理を実施する。
- *3 超ハイテン鋼板 : 強度 (TS) \geq 780MPa
高加工性超ハイテン鋼板 : 超ハイテン鋼板の内、加工性に優れた薄鋼板
- *4 米国 United States Steel Corporation と当社の合弁企業である PRO-TEC Coating Company (プロテック社)。北米におけるハイテン鋼板生産拠点。
- *5 鞍山鋼鉄集団公司の有力子会社である鞍鋼股份有限公司と当社の合弁会社。中国におけるハイテン鋼板生産拠点。

以上